

令和7年度 福田まちづくり協議会 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

・ふくだ Net やふくだ LMO 公式ラインで積極的に福田地域における開催案内や活動報告の情報発信を行うことで、地域での認知度を高めることができた。

・地域課題のうち、一番深刻な住民間のコミュニケーション不足を解決するため、ふくだまつりをはじめとする様々な事業を実施し、新たなにぎわいづくりの場または学習する場を創出することができた。

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用した事業

1 事業名	①砂防ダム建設要望書づくり	(18) 事業中 (1) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和__7年__4月__1日 ~ 令和__8年__3月__31日	
(2) 実施場所	福田地区内	
(3) 参加者数	__10__ 人	
(4) 主催団体	団体名__福田まちづくり協議会__	
4 取組内容	福田には30箇所を超える土石流危険渓流があり、その中でも住宅地に大きな影響を与えかねない渓流を2019年度に行った町内会別防災マップづくりの資料や野外踏査に基づいて13箇所を選定。これらの渓流の土砂災害危険度の調査資料を添付した資料を広島市・広島県に提出。それに対する県の認定基準に基づいてその中から8渓流を選び、それらの申請順位を福田地区自主防災連絡協議会で検討。当面、1) 観音原、2) 水晶郷川、3) 木ノ宗山麓の計3渓流をこの順で申請を決め、事前調査資料も添付した申請書の準備書面を提出。そのうちの観音原について地権者情報に基づいて同意書を作り申請書類を提出した。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	2018年7月の西日本豪雨では福田一丁目で大きな土石流被害が発生し、多くの住民に防災対策の重要性が認識され、翌年度、福田地区全18町内会・自治会での防災マップづくりが完結した。福田地区には30を超える土石流危険渓流があり、防災を重視したまちづくりを進めていくには事前防災が重要である。そのため、令和6年7月に福田まちづくり協議会が発足した際、防災もその大きな柱とされ、堰堤設置には地権者や関係住民の理解が不可欠であることから、多くの関係者の意識も高まったこの時期に堰堤設置申請の取り組みを進めることにした。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	破壊的土石流を防ぐことができ、住民生活の安全・安心が確保される。また、土砂災害に対する防災意識を高めることにもつながる。福田地区ではコロナ禍の中でも2022年に防災士会を発足させ、防災の研修・講演や展示、防災マップの改訂作業など、防災に関する取り組みを進め、一昨年度は13回、昨年度は18回、防災の諸行事に取り組んでいる。こうした住民自身による防災への取り組みに応える意味でも、ぜひこの事業は迅速に進めたいと思っている。今年度、3つある内の観音原を提出できたので、残る2つについても引き続き取り組んで行く。	

1 事業名	②親子で防災キャンプの実施	(18) 事業中 (2) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和__8年3月__27日	
(2) 実施場所	福田公民館	
(3) 参加者数	__11__ 人（一般参加者4人・防災士7人）	
(4) 主催団体	団体名__福田まちづくり協議会__	
4 取組内容	当初の予定では、公園での一泊二日の防災キャンプを考えていたが、公園での泊りを入れた事業が出来ないことが分かり、代わりの防災体験型事業として、防災サポーター養成講座をすることにした。 学ぶ 防災の基本の「き」、<u>防災講座（土砂災害と地震）</u> 歩く 福田の活断層を歩く、<u>防災まちあるき</u> 食べる いつでも役に立つ、<u>防災食づくり</u> 聞く あのととき、なにが起こったか、<u>被災体験談</u> 作る 必ず役立つ、<u>「防災ラジオ」づくり</u>	
5 目的・効果	（事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。）	
(1) 目的 福田地区に在住する多くの人に防災に関する関心を広め、知識や技能を高め、将来世代の防災担当者を育成し、防災士を増やしていくことを目的とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 実際に現地を見て回って災害との関係を考えることができたほか、被災体験者からのお話を伺い、命の大切さについての認識を深め、防災の大切さについて改めて気づくことができた。		

1 事業名	③高齢者対象防災講座	(18) 事業中 (3) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	福田地区内	
(3) 参加者数	210 人 : (19) 人 × (11) 回	
(4) 主催団体	団体名 福田まちづくり協議会	
4 取組内容	福田地区の高齢者に向けた防災研修を開催。地区内の防災士が講師となり1回あたり19名程度の参加者で11回開催した。 近い将来必ず起こりうる地震災害を想定した避難訓練に向け、高齢者の地震時の注意点や動き方について意識的に取り上げて解説しながら防災講演を行った。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 土砂災害における福田地区の状況を学ぶとともに、災害発生時の避難行動について学ぶ。 また、昨年度「命の袋」を作成し、福田地区の住人（町内会・自治会への入会、非入会関係なし）に配布した。その使い方や準備の仕方なども説明し、他人ごとではなくいつ起こってもおかしくないことだと認識し、もしもの時のために備えをしてもらうようにしたい。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 災害発生時の避難について、自分の場合どうするべきであるかを知らない人、考えていない人が居られた。繰り返し学んでもらうことで、それぞれの住居地に応じて、早めの避難行動が大事だということを意識してもらえるようになった。		

1 事業名	④おさんぽパトロールの周知・協力依頼・ビブス配布	(18) 事業中 (4) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(9) 地域の防犯に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	福田地区内	
(3) 参加者数	60人	
(4) 主催団体	団体名 福田まちづくり協議会	
4 取組内容	・ご自身や犬の散歩の時、買い物の時等、近所へのお出かけ時に緑のビブスを着用し歩いてもらい、日常生活の中で地域内のパトロールに協力してもらった。 ・学校安全ボランティアのボランティア員や福田地区防犯パトロール隊の隊員にも夏用として着用してもらうため配布した。 ・周知と協力依頼のチラシを町内会・自治会へ回覧し、ふくだNet、ふくだLMO公式ライン等で広報した。 ・令和8年3月末時点で60名の方にビブスをお渡ししている。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 学校安全ボランティアの登下校時だけでなく、各自が自分の参加できる形の安全パトロールを行うことで犯罪への抑止力になり、緑のパトロール員が溢れる安心・安全に暮らせる福田のまちにつなげる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） ・町内会単位で申し込んできてくださる場所が増えた。 ・これまで60名の方に配布しているので、ビブス着用でウォーキングされている人を見かけることが多くなった。		

1 事業名	⑤高齢者対象防犯講座	(18) 事業中 (5) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(9) 地域の防犯に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年9月17日	
(2) 実施場所	福田公民館	
(3) 参加者数	31人	
(4) 主催団体	団体名 福田まちづくり協議会	
4 取組内容	広島銀行福田支店との共催事業として防犯講座を実施。防犯意識を高めてもらえるよう、講師の方を招いて講座を開催。 ①「広島地域での防犯事情とその対策について」 講師：広島総合警備保障 ②「特殊詐欺被害の現状と対策について」 講師：広島県警察広島東警察署 ③広島銀行広島東支店C A統括本部	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	高齢者対象防犯講座を実施し、特殊詐欺に騙されないよう防犯対策を学ぶ。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	参加者アンケートを取ることで、参加者の感想、今後への要望等が分かり、次につなげることができた。 アンケートの回答概要は以下のとおり。 ・年3回くらい開催してほしい。 ・受講することで防犯意識を継続できると思うので、定期的を開催してほしい。 ・相続の話が聞きたい⇒令和8年度に開催する。 ・介護の話が聞きたい⇒介護セミナーとして今年度開催した。	

1 事業名	⑥居るだけ見守りボランティア員募集	(18) 事業中 (6) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(9) 地域の防犯に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	福田地区内の公園など	
(3) 参加者数	0 人	
(4) 主催団体	団体名 福田まちづくり協議会	
4 取組内容	役員会でどのように進めていくかを検討した結果、地区内の公園や空き地などで子どもを見守るためとはいえ、知らない大人が子どもたちを見ている状況がなかなか受け入れてはもらえないこともあるため、一旦白紙にすることになった。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 家にこもりがちな子どもたちが、公園などの野外で安心して遊ぶことができる環境を整備する。高齢者や孤独な環境にある世帯の人々が、地域の中で存在感を感じながら生き生きと暮らせる地域づくりを目指す。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 実施なし		

1 事業名	⑦福田盆踊りの継承と活動補助	(18) 事業中 (7) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(11) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年5月1日 ～ 令和8年11月30日	
(2) 実施場所	福田地区内	
(3) 参加者数	120人 : 10人×12回	
(4) 主催団体	団体名 福田まちづくり協議会	
4 取組内容	年間活動としてラポーレひろしまの入居者さんと一緒に踊る会、原山町内会と観音原自治会の夏祭り、ふくだまつり、福木ふれあいひろば、福田公民館まつりに参加し、盆踊りを披露した。 また、ふくだまつりでの盆踊りを見た福木保育園園長からの希望で、福木保育園との世代間子流会の中で園児と盆踊りの練習をする場を毎回設けてもらった。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 福田の伝統文化である福田盆踊りの継承を通じて、福田の町の活性化及び郷土愛の醸成を図る。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） ・福田盆踊り保存会メンバー増員となった。 ・福木保育園とのご縁で次年度のふくだまつりでは一緒にコラボして踊る計画になっている。こども達に福田の盆踊りも伝えられるよう少しずつではあるが取り組めたと思う。		

1 事業名	⑧福田の史跡巡りの実施	(18) 事業中 (8) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(11) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年6月14日(土): 西コース 令和7年11月1日(土): 東コース	
(2) 実施場所	福田地区内	
(3) 参加者数	西コース: 12人 東コース: 10人	
(4) 主催団体	団体名 福田まちづくり協議会	
4 取組内容	・福田の史跡を西コースと東コースに分けて巡る。 ・それぞれの史跡の解説動画を作り、YouTubeにアップした。また、現場にはYouTubeが見れるようにQRコードを貼り付けた。 ・史跡巡りから帰ってきたら、ラポーレひろしまの会議室を借りて、理解度確認テストを受け、防災食で昼食を取り、福田歴史文化保存会代表から講義を受けた。最後に受講認定証を渡した。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	福田の伝統文化の継承を通じて、福田の町の活性化及び郷土愛の醸成を図る。また、史跡巡りをウォーキングとして行うことで住民の健康増進を図る。	
(2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。)	・西コース・東コースの両方に参加している人が多かった。 ・参加者からのアンケートに神田神社について詳しく知りたい、お地蔵様について知りたい、秋祭りの時に幟旗が福田地区各町内会で数か所立ててあるが、あの場所に意味はあるのかなど、次年度企画として福田の新たな史跡を巡る謎解きイベントのヒントをもらうなど、次の開催内容の検討に繋がっている。	

1 事業名	⑨ふれあいタクシーの充実及び支援	(18) 事業中 (9) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(1) 地域住民の生活支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月 ～ 令和8年3月	
(2) 実施場所	福田地区内	
(3) 参加者数	11人	
(4) 主催団体	団体名 福田まちづくり協議会	
4 取組内容	・「ふれあいタクシー」の利用者増加をめざす運行計画の見直しや広報活動、運行資金確保のための支援を行った。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 起伏の多い福田地域の主に車を持たない高齢者や子育て世代のための、通院や買い物など、暮らしのための移動手段の確保を支援する。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） ・高齢者等の暮らしのための移動の一助となった。 ・ふくだまつりにおいて、まつり参加者の移動手段として、地区内を巡回運行した。とても良かったと利用者さんからの声が多かった。		

1 事業名	⑩高齢者対象交通安全講習会	(18) 事業中 (10) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(10) 地域の交通安全に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年12月12日 (金)	
(2) 実施場所	福田公民館	
(3) 参加者数	20人	
(4) 主催団体	団体名 福田まちづくり協議会	
4 取組内容	高齢者の交通安全に関わる内容を広島東警察署交通課の方に話をしてもらった。 ・歩行者として道路の歩き方など ・運転手として運転中に気を付ける点や免許返納へ向けてなど ・高齢者のそれぞれの目線からの注意事項など気を付けるべき点	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 高齢者対象交通安全講習会を実施し、高齢者に向けた車の運転について、または道の歩き方など再度安全について学び、交通事故等の防止につなげる。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 参加者からの「意識して運転したい」、「早朝から散歩される方には反射材を着けて欲しい」など、講習会を受けての活用方法や「高齢者だけでなく小さな子ども達を含めた交通安全講習をしてほしい」という今後の講習会の参考になる貴重なご意見もいただいた。		

1 事業名	⑪親子農業体験塾	(18)事業中(11)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(5) 地域のこども及び子育て世帯への支援に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年 5月31日(土):定植 令和7年10月18日(土):収穫・実食	
(2) 実施場所	福田地区内 親子農業体験塾畑、福田公民館	
(3) 参加者数	59人	
(4) 主催団体	団体名 福田まちづくり協議会	
4 取組内容	福田地区に居住する親子等と、地域の住民が交流しながら、農業の体験ができるよう以下の取組を行った。 <定植> ・5/31 サツマイモとピーナッツの定植 ・マルチ張り <収穫・実食> ・10/18 サツマイモとピーナッツの収穫 ・畑でサツマイモを焼いもにした。また、福田公民館へ運び、女性会の皆様に調理してもらった。サツマイモご飯、豚汁、スウィートポテト、ピーナッツ塩ゆでを食べた。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 こどもの居場所づくりの一環として、親子で農業体験を通して、こどもの健全な育成を図る。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。) 普段、畑で野菜作りをすることがない方ばかりだったので、親子で楽しそうに定植から取り組んでおられた。収穫の時のこどもたちの笑顔に元気をもらうことができた。 また、来年度作ってみたい作物アンケートを実施し、その中から次年度取り組む野菜を決めた。春じゃがいもからスタートするため、令和8年度の受講生は年度明けに募集したが、今年度を上回る申し込み数ですぐにいっぱいになった。半数以上がリピーター世帯だったことから、今年度参加してみて楽しいと感じてもらえたのだと思う。		

1 事業名	⑫ふくだまつり	(18) 事業中 (12) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年8月23日(土)	
(2) 実施場所	ラポーレひろしま駐車場、福田社協駐車場	
(3) 参加者数	1,100人	
(4) 主催団体	団体名 福田まちづくり協議会	
4 取組内容	・地域団体等による屋台などの出店 ・こどもエリアの開催 ・ステージ発表 ・第2回目特別企画実施(ふくだLMO公式ライン登録者キャンペーン・全員で集合写真) ・開始時間を第1回目の時より1時間遅くして17:00スタート、20:00終了とした。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 ・福田地域のまちづくり促進のため、地域主体の夏祭りを実施 ・こどもから高齢者まで幅広い世代の住民同士がふれあい・集える場となること ・ふくだLMOの地域周知を強化できるよう祭り開催の周知方法も工夫 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。) ・こどもから高齢者の方まで1,100名の方に参加してもらえた。 ・当日は前内閣総理大臣の衆議院議員、岸田文雄様にご来場いただいた。 ・夏祭りということで、会場におられる方々がステージから飛び出し、一つの大きな輪となり福田盆踊りで踊り締めをした。福田の幅広い世代の方が楽しんでくださったことから、福田のまちの楽しいイベントとして、少しずつ定着してきていると感じれた。		

1 事業名	⑬ふくだLMO公式ラインの拡充	(18)事業中(13)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	福田地区内	
(3) 参加者数	409人 R8.3 末時点	
(4) 主催団体	団体名 福田まちづくり協議会	
4 取組内容	・6の日をふくだLMO公式ラインの日と固定して、1日の福田公民館の日と合わせて、月に4回発信している。(1日・6日・16日・26日) ・公式ラインの登録者が400人を超えた。 ・公式ラインにふくだLMOYouTubeチャンネル、ふくだNetホームページ、福田社協のライフサポートふくだ依頼フォームをリンク付けしており、福田地区の各種団体の情報等が見られるものとしている。 ・事業の報告だけでなく、開催案内も配信しており、文章内にURLをつけているので、公式ラインからも申し込みが出来るようにしている。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 福田のまちづくりの情報が見える化して多くの住民に知ってもらうことで、新たな担い手や活動従事者の確保につなげる。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。) 当初の登録数の目標を200人としていたが、ふくだまつりでの登録者キャンペーンや福田社協広報誌での公式ライン特集、様々なLMO事業の参加者への登録案内等を続けていった結果、400人を超える登録者数となり、福田地域においての情報ツールの一つとして確立した。		

1 事業名	⑭認知症サポーター養成講座の開催	(18) 事業中 (14) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(4) 地域住民の生涯学習に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年12月17日(水): 終活セミナー 令和8年1月10日(土): 介護セミナー 令和8年2月14日(土): 認知症サポーター養成講座	
(2) 実施場所	福田公民館	
(3) 参加者数	100人(終活: 30人、介護: 28人、認知症: 42人)	
(4) 主催団体	団体名 福田まちづくり協議会	
4 取組内容	当初は、認知症サポーター養成講座のみの実施予定だったが、終活セミナーとして福田公民館の福田大学で行ってもらうことにした。 また、防犯講座で参加者アンケートにあった介護の話が聞きたいという要望から介護セミナーを実施することにした。介護についてどのような内容の話が聞きたいか、前もって40代～70代の数名にリサーチし、その希望を基にセミナーの内容を組んでもらった。 認知症サポーター養成講座では、話を聞くだけでなく、例として実演してもらえたのでとてもわかりやすかった。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	誰でもなり得る認知症についての認識を深め、お互いに支え合い、認め合える地域づくりを目指す。	
(2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。)	当初、実施予定としていた認知症サポーター養成講座だけでなく、介護について一から学びたいという声を受けて年度途中で追加した介護セミナーを実施した。前もってのリサーチ内容で多くの方が「今更、聞けないんだけど」と介護施設の違いや介護保険、どこに相談したらよいのかなど言われているのを見て、勉強できる場を求めておられたことが分かった。 次年度は介護セミナーを年3回コースとして開催するなど、福祉についてみんなで学んでいこうという地域にしたい。	

1 事業名	⑮山歩き会の実施	(18)事業中(15)事業目
2 特定地域共同活動の分類	(2) 地域住民の健康の維持増進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年__4月12日(土):木の宗山憩いの森ハイキング 令和7年11月29日(土):森林公園	
(2) 実施場所	福田地区内	
(3) 参加者数	22人(憩いの森ハイキング:12人、森林公園:10人)	
(4) 主催団体	団体名__福田まちづくり協議会__	
4 取組内容	・4/12は、木の宗山烏帽子岩から憩いの森へ移動。昼食を食べた後、わくくり岩を見て、広島県自主防災アドバイザーの防災の話を聞き、事務所へ戻る。 ・11/29は、木の宗山登山を計画していたが、クマの影響から目的地を変更。森林公園へいくことにした。鷹の条の展望台にも行き、森林公園の中を散策した。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 福田の自然豊かな町並みや、草花を楽しみながらハイキングをすることで、住民の心身の健康増進を図る。また、地元の史跡でもある木の宗山をハイキングすることにより、普段住んでいる地元の魅力を感じ、住民の郷土愛を育む。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。) ・福田の山を歩く、登るということで各種団体等で活動されている方の中から、企画と一緒に盛り上げてもらえるメンバーを集め、「ふくだマウンティンクラブ」を立ち上げた。当初5名だったメンバーも増えて11名となった。 ・一般の参加者からおなじみの方ができ、史跡巡り企画にも必ず参加してもらえるなど、LMO事業での繋がりができた。		

1 事業名	⑩区長と語る会	(18) 事業中 (16) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(13) 地域課題等の把握に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年10月～令和8年3月	
(2) 実施場所	福田地区内	
(3) 参加者数	30人	
(4) 主催団体	団体名 福田まちづくり協議会	
4 取組内容	①10/24 に町内会・自治会、各種団体へ<u>要望記入用紙</u>を配布 ⇒ 11月末提出締め切り ②提出された内容をまとめて、<u>要望書作成</u> ③1/16（金）LMO役員会で<u>要望書</u>を確認 ④1/30 区役所へ提出 ⑤区長と語る会の開催日時を調整してもらえ⇒5.6月頃に実施予定 ⑥区長と語る会 ※要望書についての回答は、後日もらう（上期末ごろを目途）	
5 目的・効果	（事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。）	
(1) 目的 福田の地域課題の解決に向けて、行政と福田の住民が地域の問題点を共有し、地域と行政の協働あるいは役割分担によって、住みよいまちづくりに資する。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 現在、取り組み内容の④までなので、効果は不明。回答内容に応じて、地域で実施できる取組などを検討する。		

1 事業名	⑰学童の見守り活動	(18) 事業中 (17) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(9) 地域の防犯に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年3月27日 (金)	
(2) 実施場所	福田公民館	
(3) 参加者数	20人	
(4) 主催団体	団体名 福田まちづくり協議会	
4 取組内容	福木小学校の登下校時見守り活動をしてくださっている学校安全ボランティア員は43名いる。以前から声があがっていたこどもたちのもしもの時の簡単な応急手当ができるよう、救急対応袋を準備した。広島東警察署の方を講師として、3月23日(月)に開催した学校安全ボランティア員講習会で、この救急対応袋を配付した。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 現在、各自で救急対応袋を準備して携帯されている学校安全ボランティア員さんがたくさんおられ、以前から寄せられているボランティア員全員に救急対応袋を配布してもらえないかとの声にお応えする。 (2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。) 各自で準備して携帯されているボランティア員がたくさんおられることを考えると、少しでも負担をなくすこと、または新たにボランティア員になろうと思われる方にとっても、一つの良いきっかけになったと思う。		

1 事業名	⑱ピースフラワープロジェクト花育	(18) 事業中 (18) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年 2月～4月 計6回	
(2) 実施場所	福田公民館	
(3) 参加者数	84人 (14人×6回)	
(4) 主催団体	団体名 福田まちづくり協議会	
4 取組内容	①2/13 講義「冬の花の管理について」講師：トータルライフコーディネーター 小島ゆきこさん ②2/27 パンジー鉢上げ、ペチュニア鉢上げ、パンジー肥料等手入れ ③3/13 肥料等手入れ ④3/26 肥料等手入れ ⑤4/10 肥料等手入れ ⑥4/24 出荷準備	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 誰もが知っているひろしまフラワーフェスティバルの会場を飾るという目的があることで、花を何のために育てるのが明確で参加しやすいと考え、ひろしまフラワーフェスティバルピースフラワープロジェクト花育に参加することにした。花育に興味を持ってもらい、花を育てることが好きな人同士を繋ぐことで、将来的に花ボランティアグループが活動継続できるようにしたい。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 福田地区社会福祉協議会の花ボランティアのボランティア員の皆さんも高齢化が進み、だんだんと人数も減少してきている。今回のピースフラワープロジェクト花育活動にも花ボランティアのメンバーが数人参加してくださっているが、一般の方も居られた。花を育てる活動を一緒にすることにより、コミュニケーションが図られ、いずれは花ボランティアに協力してもらえらるまたは、新メンバーとなってもらえることを期待したい。		

3 自主財源で実施した事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	実施内容
	なし		